

徳島大学 AWA(OUR) サポートシステム

(実施期間：平成 22～24 年度)

実施機関：徳島大学（総括責任者：香川 征）

プロジェクトの概要

(1) 女性研究者のための具体的な取組

女性研究者拡大支援の中でも、1)研究支援員の配置、2)任期付き教員の任期延長、3)学内女性研究者ネットワークの構築、4)男女共同参画室の充実、を行う。その他の女性研究者支援(学長裁量女性研究者プロジェクト、求人・人材バンクの設立、など)、意識啓発の推進(教職員への啓発活動、学生への啓発活動、など)、ワークライフバランス実現に向けての支援(保育施設の充実、AWAベビーシッター制度、など)、を強化して「男女共同参画の推進」のために徳島大学AWA(OUR)サポートシステムを加速推進する。

(2) 期待される効果

30 歳代の女性研究者の増加と、このようなロールモデルを学生や若い研究者が意識することにより、女性研究者の更なる増加と研究業績の向上、という「正の連鎖」が生まれる。国際的な競争力を持つ優れた女性研究者が育ち、更に充実した職場環境があることで、国内外から優秀な研究者が集まる研究拠点へと変化していくことが期待される。本事業の取組がモデルケースとなって、他大学や企業へも波及することが期待できる。

(1) 評価結果

総合評価	目標達成度	取組	システム改革	実施体制	実施期間終了後における取組の継続性・発展性
A	a	a	a	a	a

総合評価：A（所期の計画と同等の取組が行われている）

(2) 評価コメント

学長のリーダーシップの下、AWA(OUR)サポートシステムの実施により機関全体としての意識改革を進めるとともに、子育て世代の 30 歳代の女性研究者を対象の中心としそのニーズを踏まえた取組を実施し、環境整備及び研究力の大幅な向上を実現したことが評価できる。今後は、任期の適用のある女性研究者のキャリアパス支援とともに、任期を付さないテニユア教員としての女性研究者の採用を進めることが期待される。

- ・**目標達成度**：女性教員比率、研究業績の向上等、所期の目標はすべて達成しており評価できる。今後は、任期を付さないテニユア教員における女性比率の上昇を期待する。

- **取組**：ベビーシッター制度、研究支援員の配置、人材バンク、研究支援セミナー、学長裁量女性研究者プロジェクト等、幅広い取組が有効に機能し成果を上げており評価できる。
- **システム改革**：AWA(OUR)サポートシステムの実施により機関全体としての意識改革が進み、研究環境の整備とも相まって、子育て世代の30歳代の女性研究者の離職の抑制、また、女性研究者の研究業績の向上に繋がったことが評価できる。
- **実施体制**：学長のリーダーシップの下、学長直下の男女共同参画推進本部、事業実施母体であるAWAサポートセンター、人事課男女共同参画室が連携して活動する全学的な実施体制を構築したことが評価できる。
- **実施期間終了後における取組の継続性・発展性**：事業終了後も十分な予算を確保し、AWAサポートセンターを実施母体とし取組を継続しており評価できる。事業実施期間中は、自然科学系の女性研究者はすべて任期を付した職により採用しており、今後は、任期を付さない安定的な職による採用を進めることを期待する。